

科目名	* 機械工学概論		
担当教員	久保 明雄 副島 光洋		
対象学年	1年	クラス	[007]
講義室	8209教室	開講学期	前期
曜日・時限	月3	単位区分	必
授業形態		単位数	2
準備事項			
備考			
A講義概要/Class Outline	<p>私たちの身のまわりには、携帯電話、家電製品、自動車と多くの機械があり、それらを使いながら日々快適な生活を送っている。この講義では、そうした機械を作るために必要な機械工学(数学、物理といった基礎知識も含む)の概要を学習する。</p> <p>(達成目標)</p> <p>①機械工学の学問・技術体系の構成が理解できる。 ②高校までに学習した数学、物理、化学の基礎知識と機械工学とのつながりが理解できる。 ③さまざまな機械の仕組みが理解できる。</p> <p>授業時間: 22.5時間</p>		
B講義計画(テーマ及び学習内容)	回	内容	
	1	ガイダンス 連絡先調査, 講義マナー	
	2	就職状況と大学4年間の過ごし方	
	3	基礎学力テスト(プレースメントテスト)および解説	
	4	就職に必要な基礎学力(1)	
	5	就職に必要な基礎学力(2)	
	6	情報リテラシー(1)	
	7	機械工学における数学の役目	
	8	機械工学における物理学の役目(2)	
	9	能力開発と生涯学習法	
	10	自動車と機械工学	
	11	創造教育 設計	
	12	創造教育 製作	
	13	就職マナー	
	14	情報リテラシー(2)	
	15	基礎学力テスト(アチーブメントテスト), 時間・情報の有効活用法	
C到達目標/Class Goal	B大学生として自主的かつ継続的に学習し、問題を解決する姿勢を身につける。		
D準備学習の内容(事前・事後学習)	予習復習を1時間程度行い、授業に臨むこと		
E評価基準GradingCriteria	評点(100点満点)の60点以上を合格とし、60~69点を可(C)、70~80点を良(B)、80~89点を優(A)、90点以上を秀(S)とする。		
F評価方法/Grading Method	各テーマの学習到達度をみるために行うレポートおよびテストを総合的に評価する。		
G受講上の注意/Class Rules	基礎学力テストで基準点に達しない場合、リメディアルの受講を課す。		
H受講制限/Prerequisite	なし		
I関連する科目RelatedClass	機械工学科専門科目全般		
	著者名	九州産業大学機械工学科	

J教科書/Text	著書名	機械工学基礎
	出版社名	
	ISBNコード	
K指定図書/Assigned Books	著者名	成美堂出版編集部
	著書名	モノができる仕組み事典
	出版社名	成美堂
	ISBNコード	ISBN4415301029
L参考文献/Bibliography	著者名	なし
	著書名	
	出版社名	
	ISBNコード	



Copyright (c) 2008 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.